



## 薬物乱用防止教室 「薬物はダメ、ゼッタイ」

5・6年生を対象に、毎年ゲストティーチャーをお招きして実施している薬物乱用防止教室を、10日（木）に行いました。今年は、長崎税関佐世保支署の方に来ていただき、密輸や一般の荷物にまぎれた形で不法輸入しようとする薬物を水際で取り締まる税関のお仕事や、薬物依存の恐ろしさについて、最前線で働く方の生の声をまじえたお話を聞かせていただきました。

外国の税関での取り締まりなどをテレビで見たことがある子もいましたが、実際に佐世保や東シナ海で行われた取り締まりにもとづいた話を、テレビとは違った身近な話として真剣に聞いていました。

覚せい剤といった明らかな違法薬物以外に、合法を装った薬物が出回っていたり、運び屋として耳当たりのいい誘い文句で、知らないうちに犯罪に加担したりすることもある現在です。そのような誘惑に直面したときに、きっぱりと断ることができる強い意志と正しい知識を持つことの大切さを改めて学びました。

どの子も、「恐ろしい薬物に手を出したくない。」「なぜ、こういうことがなくなるのだろう」と素直に考えていました。この気持ちをいつまでも持ち続けてくれることを願っています。



## 不審者対策について学ぶ

昨年度は、警察の方をお招きして、リアルな不審者を演じていただきながら、不審者を避け、安全に身を守る訓練を行いました。コロナ禍の中、今年は講師をお招きしての訓練は見合わせ、これまでに学んだことを確かめたりすることを中心とした訓練を行いました。

不審者対応の合言葉「いかのおすし」について勉強し直す紙芝居を見ました。校外で下校中に知らない人から声をかけられたら、どう対応する？ と問いかけ、ついて行かない。車に乗らない。大声を出す。すぐににげる。大人に知らせる。という「**い**か・**の**・**お**・**す**・**し**」を一つ一つ確かめました。

学校へ不審者が侵入してくるということもありますが、街中で声をかけられたり、誘拐のようなことに巻き込まれたりということもあります。いつどこで、そういう場面にあうかわかりません。大きな声を出す練習を訓練の中で行いましたが、実際に刃物を突き付けられたら、子どもたちは真っ青になって声を出すことができないことが多い、と専門家から聞いたこともあります。そういう事態を招かないように、知らない人から話しかけられたとき、一定以上に近づかない（5～6mほど離れておく）。大きな声のかわりに防犯ブザーで大きな音を出すことも大切です。電池切れや故障などで必要な時に音が出ないブザーはないでしょうか。犯罪の少ない大島ではありますが、こういったリスクは、決してゼロではありません。島外へ出ることもありますので、今回の学びをもとに、自分の命を自分で守るために大切なことを、ご家庭でも話題にいただけるとありがたいです。

\*今回、4年生以上に「ぼくもわたしも社会の一員」という小冊子を配布しています。交通事故や自然災害、不審者やメディアトラブルなどから身を守るための情報なども書かれています。ぜひ、親子でご一読されてみてください。

